

### 第3回市立病院建設検討委員会の検討項目について

「松本市立病院整備のあり方に関する将来構想」において、基本計画策定の視点として掲げた6項目について、項目ごとに検討いただくものです。

第3回検討委員会の検討項目は、「医療機能」及び「規模」の2項目です。

#### 検討項目【医療機能】

地域住民から求められる役割を十分果たせるよう、急性期医療をはじめとした医療提供体制のあり方について検討します。

#### 検討項目【規模】

将来の医療需要に合わせた適正な病床数・病棟などの整備が必要です。  
人口動態や高齢化等を見据え、最適な規模を検討します。

(将来構想より)

## 1 診療体制の整備

### (1) 診療

市立病院の現状等	市立病院の考え方
ア 一般診療	
(ア)総合診療 外来患者のトリアージと初期診療を行い、当院の外来診療の窓口となっている。	<b>総合診療科の充実</b> ・外来診療の入口として総合診療体制をより充実させたい。 ・患者の動線に配慮した設計が必要である。
(イ)癌などの悪性腫瘍疾患 死因別死亡率の1位は悪性新生物であり、生涯2人に1人は罹患する疾患とされ、患者数は今後も減少しないと予測される。	<b>診断に必要な検査体制の充実と高次医療機関との連携</b> ・診断については、内視鏡診断、画像診断など国内標準以上の整備をしたい。 ・手術療法、薬物療法に関しては、可能な範囲で担っていきたい。専門性の高い分野や放射線治療に関しては、がん診療連携拠点病院などの高次医療機関との連携を強化したい。 ・緩和ケアに対応できる体制を整備したい。

<p>(ウ)生活習慣病・機能性疾患</p> <p>地域の病院として不可欠にして最も対象患者が多い部門である。</p> <p>&lt;高血圧・循環器疾患&gt;</p> <p>&lt;呼吸器疾患&gt;</p> <p>&lt;糖尿病・脂質異常&gt;</p> <p>&lt;腎疾患&gt;</p> <p>&lt;脳神経疾患&gt;</p> <p>&lt;運動機能疾患&gt;</p>	<p><b>初期診断及び慢性疾患に対応できる体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の需要に応える体制を維持しつつも、急性の冠動脈疾患は、心臓カテーテル検査可能な施設が松本平に整っていることから、診断トリアージを確実にしていくことを当院の役割とする。</li> <li>・心不全などの慢性疾患に対応できる体制を整備したい。</li> </ul> <p><b>専門医の確保による的確な診断と治療体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉塞性肺疾患（肺気腫等）等の増加が予想される分野で、在宅酸素療法が必要とされる患者さんが増加することが予想される。呼吸器疾患の専門医の人材確保に合わせて環境整備を進める。</li> </ul> <p><b>発症予防や重症化抑止の取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も患者さんが増加している分野である。発症の予防や、重症化の抑止には、多くの医療スタッフの協力が必要であり、病院全体で取り組んでいきたい。</li> </ul> <p><b>重症化予防と透析の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病で透析に移行している患者さんが増加している。一方、CKD（慢性腎臓病）の重症化、透析にならないための施策を、地域のリーダーとして展開していくことも重要である。</li> <li>・透析ベッドは 37 床を設置しているが、より充実を図りたい。</li> </ul> <p><b>回復期・慢性期に対応できる環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急性発症の脳血管疾患には十分な対応ができないので、近隣の専門病院との連携により地域で治療が受けられる体制を整備したい。</li> <li>・回復期、慢性期に対応できる環境は整備していきたい。</li> </ul> <p><b>的確な診断と治療体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会の中で、骨折などの外傷性疾患は、増加すると考えられ、的確な診断と治療ができる体制整備は不可欠である。</li> <li>・整形外科は、専門が細分化している中、脊椎の治療ができる体制を整備したい。</li> </ul>
--	---

	<p>&lt; 排尿障害 &gt;</p> <p>&lt; 肝疾患 &gt;</p>	<p><b>的確な診断と治療体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化に伴い増加する分野であり、適格な診断と治療・指導が可能な体制が必要である。</li> </ul> <p><b>的確な診断と治療体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣に関連した肝疾患も予想され、生命に関わる重要臓器の疾患であるため、的確な診断と治療ができる体制を整備したい。</li> </ul>
	<p><b>(エ) 感染症</b></p> <p>季節性の流行病から 2 類感染症、新型感染症へ対応している。</p> <p>当院の入院契機になる最も多いのが高齢者の肺炎であり、小児では、様々な感染症で外来受診し、入院している。</p>	<p><b>各種感染症に対応可能な病院整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院の診療において感染症は、重要な分野であり、各種感染症を想定し、それらに対応できる外来機能・入院機能が必要である。</li> <li>・地域の基幹病院として、一般感染症から新型感染症まで幅広く対応する必要がある。</li> <li>・小児の感染症に対応するための病棟整備が必要である。</li> </ul>
<p><b>イ 周産期医療</b></p> <p>西部地域唯一の分娩医療機関として、周産期医療を支えてきた歴史があり、分娩件数は 500～600 件で推移している。</p>		<p><b>安定した医療提供体制の継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本医療圏の出産を担う病院の一つとして、継続して医療を提供できる体制が必要であり、一部門ととらえず病院全体で支えていく。</li> <li>・外来から出産まで一貫して安全・安心を最優先に、アメニティにも配慮した環境整備が必要である。</li> <li>・ハイリスク妊娠、ハイリスク新生児に関しては、信州大学附属病院や県立こども病院との連携を強化しつつ、新生児医療については、院内整備も行いたい。</li> </ul>
<p><b>ウ 小児医療</b></p> <p>複数の常勤医が対応できている小児医療は周産期医療とともに当院の特色となっている。</p> <p>県立こども病院、夜間急病センターが設置され、小児科開業医も多く、この地域は小児科医療が充実していると言える。</p>		<p><b>急性期患者に対応できる体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医療が充実している当地域における当院の役割として、入院を要する急性期患者に対応できる体制をより強化していく。</li> <li>・産科との連携の中で新生児医療をより安全・安心なものにしていく。</li> <li>・学校保健や予防接種活動を通じて、地域の健やかな小児の成長に関わっていく。</li> </ul>

<p><b>エ 高齢者医療</b></p> <p>高齢化がますます進む地域において、病院全体で取り組んでいる。院内の各分野の協力・連携により高齢者への医療を提供している。</p>	<p><b>地域包括ケアシステムを支える施設・体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムにおける地域連携病院として施設及び体制の充実、強化を図る。</li> <li>・住み慣れた地域で適切な医療が受けられるよう、多職種多分野が連携する体制を整備したい。</li> </ul>
<p><b>オ 終末期医療</b></p> <p>介護・福祉分野などの院外組織との連携を図りながら終末期医療の支援に取り組んでいる。</p>	<p><b>様々な要望への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人生の終末期の要望に応えられる環境や体制を整備したい。</li> </ul>
<p><b>カ 救急医療</b></p> <p>松本医療圏における、当院の役割は二次救急医療である。</p> <p>日中はもちろんのこと、休日、夜間の二次救急医療を輪番で担っている。</p>	<p><b>地域に根差した救急医療体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一次、二次救急患者に幅広く対応できる地域に根差した救急体制を目指す</li> <li>・輪番ではない日の時間外の外来診療に対応可能な各部門の体制を整備したい。</li> <li>・高次医療機関との連携はさらに充実強化していく。</li> </ul>

## 2 病院の機能・規模

### (1) 機能

市立病院の現状等	市立病院の考え方
<p><b>ア 外来</b></p> <p>標榜診療科：産科、婦人科、内科、消化器内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、脳神経外科、形成外科、整形外科、ペインクリニック整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、救急科（救急総合診療）、麻酔科、歯科口腔外科</p> <p style="text-align: center;">【全27診療科】</p>	<p>上記「1 診療体制の整備」に基づく外来機能を整えたい。</p>

<p><b>イ 入院</b> (病床数は診療報酬算定方法の規定に基づく届出数)</p>	
<p><b>(ア)急性期病棟</b> 急性期病棟 118 床 3 階 58 床 4 階 60 床(産科・小児科含む) (27 年度 42 床減、28 年度 55 床減) 【7 : 1 看護基準】</p>	<p><b>規模の維持若しくは縮小の検討</b> ・同規模若しくは、若干の縮小を検討したい。</p>
<p><b>(イ)回復期病棟</b> 回復期リハビリ病棟 32 床 【13 : 1 看護基準】 地域包括ケア病棟 49 床 【10 : 1 看護基準】</p>	<p><b>機能の継続と規模の維持</b> ・役割の異なる 2 つの機能を継続したい。 ・規模は現在と同程度の 2 病棟で検討したい。</p>
<p><b>(ウ)緩和ケア病棟</b> 未設置 県内設置病院の状況 新生病院(小布施町)20 床 愛和病院(長野市)48 床 諏訪中央病院(茅野市)12 床 岡谷市民病院 17 床</p>	<p><b>緩和ケア病棟の開設</b> ・松本平唯一の緩和ケア病棟を開設したい。 ・規模は、他地域の緩和ケア病棟の現状を参考に検討していきたい。</p>
<p><b>エ 在宅医療・在宅支援</b></p>	
<p><b>(ア)訪問看護</b> 病院建物が狭隘であるため、波田支所内の一室を間借りして訪問看護ステーションを開設している。 スタッフ 事務 1 名 看護師 7 名</p>	<p><b>訪問看護ステーションの病院施設内整備</b> ・在宅支援の一環として、訪問看護ステーションを充実させたい。 ・地域住民が立ち寄れるサロンのようなスペースを確保したい。</p>
<p><b>(イ)居宅介護支援</b> 訪問看護ステーション内に居宅介護支援事業所を設置し、ケアマネージャーを配置している。</p>	<p><b>現在の機能を維持</b> ・今までと同様の役割を果たしていきたい。</p>

## (2) 規模

<p><b>ア 病床数</b> 許可病床数 215 床 (一般病床 209 床・感染症病床 6 床) 【病院局 246 床】 (市立病院 215 床・会田病院 31 床)</p>	<p><b>現在の規模を基本に今後検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前述の病棟の考え方のおり、現時点では、現在の規模を基本として考えており、今後、成案が示される地域医療構想や、市立病院建設検討委員会の提言を踏まえながら、平成 29 年度中に策定する基本計画で具体的な検討を行う。</li></ul>
<p><b>イ 面積</b> 建物の延べ床面積 15,200 m<sup>2</sup> (東棟 7,635 m<sup>2</sup>・西棟 7,567 m<sup>2</sup>) 駐車場 第一駐車場 2,219 m<sup>2</sup> 第二駐車場 5,460 m<sup>2</sup>(立体三層)</p>	

## (3) 各部門の整備

市立病院の現状等	市立病院の考え方
<p><b>ア 診療部門</b></p>	<p><b>基本計画策定後に検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・病院の基本計画が定まり、新病院の運営について検討する時期に改めて検討する。</li></ul>
<p><b>イ 看護部門</b></p>	
<p><b>ウ 医療技術部門</b></p>	
<p><b>エ 事務部門</b></p>	